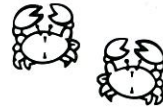
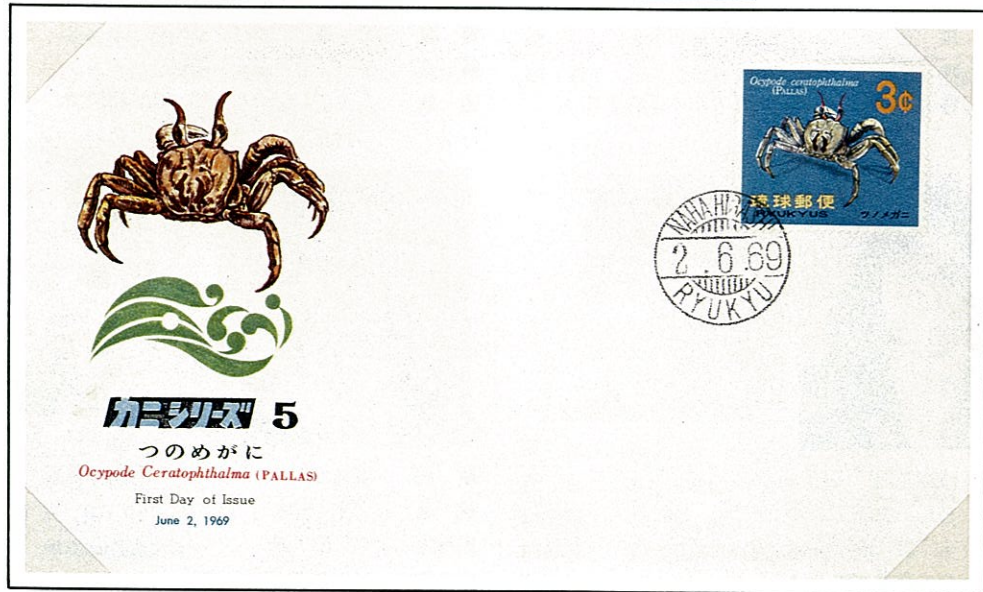


ツノメガニ

分類：短尾区 方頭亜区 スナガニ科 スナガニ亜科  
 (十脚目 爬行亜目)  
 学名：*Ocypode ceratophthalma*  
 英名：Ghost crab

相模湾以南からハワイ諸島、オーストラリア、紅海、アフリカ東岸、南岸にまで広く分布し、眼柄の先端が、著しく長く突出して角となって、視覚も鋭く、動作もまた敏捷である。甲は略四角形で、甲面の後端に茶褐色の2コ又は4コの紋様があるので、他種との識別は容易である。カニ類で音を発するものは少く、スナガニ類はその数少ないものの一つで、本種のツノメガニも大鉗脚の掌部の内側に細長い棒状の突起があり、鉗脚の付け根の上方即座節の内面の摩擦片とすりあわせて、微妙な音を発する。甲長31mm、甲幅36mm。同属のスナガニ (*O. stimpsoni*) は、東北以南の日本各地の砂浜に広く生息し、一般に体色は青褐色、胸脚はうすい紅色、甲に雲紋模様はない。行動は極めて敏活で、砂浜に穴居する。甲長25mm、甲幅29mm。



サンゴガニ

分類：短尾区 方頭亜区 オウギガニ科 サンゴガニ亜科  
 (十脚目 爬行亜目)  
 学名：*Trapezia cymodoce*  
 英名：Coral crab

太平洋、印度洋の熱帯、亜熱帯の珊瑚礁に生息するカニ類で、樹枝状のサンゴの中でも、ミドリイシ、トゲサンゴ等の枝の間に雌雄一対で棲みついている。甲、鉗脚、歩脚共平たく、上下に扁平で、体色は藍紫色のものも多く、赤褐色のものもある。甲長11mm、甲幅13mm位の小型種である。甲は滑らかで光沢があり、鉗脚は左右で大きさが異なり甲に比して頗る大きい。ハサミはカミソリのように鋭い。歩脚の先端即指節は、他のカニ類のように鋭い爪でなく、先端が丸味をおび、短い剛毛が密生し、鉗脚長節には5~6コの鋸歯が前縁に並び、サンゴをかかえるのに適している。

アミメサンゴガニ (*T. areolata*) は、甲と鉗脚が蜂の巣のような赤い網目で被われ、歩脚には網目が無い。幼ガニは網目が粗い。甲長14mm、甲幅17mm位である。

